

AYA世代(15歳~39歳) がん患者への支援導入を!!

令和3年第1回定例会が2月17日から3月23日まで行われました。田中じゅん子区議は、区民生活を守るため当面する重要課題について斉藤猛区長に質問提案しました。ここでは、質疑の概要をご報告いたします。



登壇する田中じゅん子区議

問 医療的ケア児への支援について

- 1 医療的ケア児の現状と課題への対応について
- 2 在宅で人工呼吸器を使用している医療的ケア児への災害対応について
- 3 医療的ケア児の療育やレスパイトの場の拡充について
- 4 保育所等における医療的ケア児の受け入れ体制の整備について
- 5 区立小中学校等における医療的ケア児の受け入れについて

答

1 大きな課題である。区内79名の医療的ケア児があり、昨年全員にアンケートを実施した。今後は、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係部署による協議の場の設置や、医療的ケア児コーディネーターの配置を進めていく。ライフステージに応じた支援体制を構築し、横断的な連携を図っていききたい。

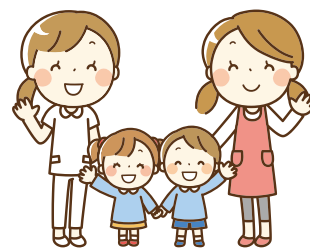


2 在宅人工呼吸器使用者災害時個別支援計画は、今年度中に対象者全員の作成が完了する予定である。また来年度から、災害時個別支援計画を策定した方を対象に、自家発電装置購入助成を実施する。



3 医療的ケア児が通所可能な施設は、徐々に増えてきている。短期入所は東部療育センターに頼っているのが現状である。誘致も含め、様々な角度から検討したい。

4 障害の程度に合わせた対応が必要になる。直営でできるのか、あるいは他に担い手がいるのか等、検討していきたい。また、軽度の方については、国や都の補助も見定めながら、区立保育園でも受け入れを検討していく。医療的ケア児の保護者が希望に応じることができ、今後の対応を考えていきたい。



問

子宮頸がんのワクチン接種対象者へ、接種の可否を判断するための情報提供について

答

現在、接種対象者への積極的勧奨は中止している。国の通知を受け、区ホームページの見直しを行い、厚労省作成のリーフレット等へのアクセスを改善した。また令和3年度より、高校一年生相当の方へ「接種対象者であること」「接種には効果とリスクがあること」等を確実に周知するため、個別にはがきを送付する。



問

「福祉美容出張サービス」の拡充について

1 対象者を要介護3の方々に拡充すべき

2 さらに多くの方に利用していただくための周知方法の拡充とインターネット申請の実現について

答

1 理美容組合と意見交換しながら、様々な角度から検討したい。

2 様々な媒体を通じてお知らせをしている。来年度中にはインターネット申請も可能としたい。



問

区立小中学校において、通常の消毒に加え、次亜塩素酸水生成器の設置を検討しては。

答

感染防止対策を徹底するため、文科省の衛生管理マニュアルに基づき、引き続き十分な消毒液の確保に努める。水と食塩から生成できる次亜塩素酸水の利点等も踏まえ、避難所での感染対策についても併せて研究していききたい。



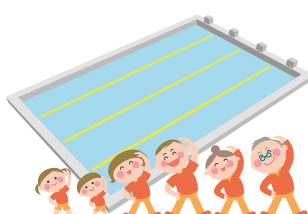
問

東部篠崎地域の喫緊の課題について

- 1 東部地域の一大スポーツ拠点構想について
- 2 都市計画道路補助286号線の都県橋について

答

1 現在、区内外のスポーツ施設の調査を行っている。来年度には文化施設の調査も行ったうえで、夏から秋ごろに基本構想をまとめ、年度末には基本計画をまとめていきたい。その中で、大事なのは地域の皆さんのご理解とご協力であり、大切にしていきたい。



2 「災害に強い首都東京形成ビジョン」モデル地区に篠崎地区が選定され、都県橋に関する内容が示されている。多摩川と同様に、3km間隔での架橋を目指し、今後取り組みたい。



5 障害があっても、当該児童生徒が適切な環境で学び、クラスメート達と人間関係を築くことは、周囲の児童生徒も含め人格形成にとって大事なことでと考える。また、現在、医療従事者を配置している他自治体の状況も確認しているところである。支援のあり方については、国の通知等を踏まえ、よく研究したい。

問

AYA世代(15歳~39歳)がん患者への支援について

- 1 妊孕性(妊娠するための力)温存治療への支援について
- 2 切れ目のない支援施策として在宅療養支援の導入について

答

1 都が来年度から実施する助成事業をお知らせするとともに、区としてできることがあるのかを見定めていきたい。

2 数は少ないかもしれないが、制度が抜けている世代である。訪問介護や入浴介助、福祉用具など支援を必要とする方がいるのは事実だと思う。今後、対応を是非検討していきたい。